

地域福祉高校生ワークショップ(高校生が考えた地域福祉の課題と解決方法)

	地域の課題	検討内容(解決策)	高校生が出来ること(アクション)
安全なまちづくり	街灯が少なく、暗い道が多い 道路環境 交通マナー 障がい者への配慮 福祉関係の人手不足 その他 空き家が多い 避難所がわかりにくい	街灯を整備する 道路環境の整備 マナーを周知する看板を多くする 障がい者への配慮	交通環境の改善 障がい者理解
	移動手段が少なく、公共交通が不便	交通機関の利用調査 買い物困難者への対応	買い物が出来ない人に代わっておつかいをする
交流・街の活性化	地域住民との関係が希薄 転動が多いため、周りに住んでいる人が分からない 近所との交流が少ない・近所に住んでいる人を知らない	地域交流を増やす 地域の人に会ったら挨拶をする 地域で参加するレクリエーションの場を作る 親子で参加出来る講話や行事を増やす 直接高齢者に会いに行き、声掛けや行事などへの参加を促す ひとり暮らし高齢者の家を訪問し、お話ししたりする	地域交流 幼児から高齢者まで道で会ったら挨拶をする 家の祖父母を外出に誘う 近所の高齢者をイベントに誘う 家庭菜園をしている近くの高齢者に教わりに行く 多くの人が集まって話しやお茶会などが出来る様にする 郷土料理のお料理会の実施 市内の様々なところに出かけてみる 地域行イベントに積極的に参加する
	交流の場が欲しい 退職後の高齢者が日中過ごす場 ひとり暮らし高齢者が孤立している 地元の魅力を子ども達に伝える機会が少ない	地域の学校、保育園、市民センターや図書館を利用し、定期的な交流の場を設ける 交流の場づくり 高齢者を学校行事に招待し、触れ合う場を設ける 学生が高齢者の話を聞く「イベント」を開く "高齢者×高校生"イベントの企画 親の帰りの遅い子どもを、高齢者宅で預かってくれる仕組みをつくる	日頃の交流に心掛ける
	みんなが集まって楽しめる場がない 子どもが思いっきり遊べる公園 高齢者が楽しめる場 障がい者が気軽に散歩出来ない	移動手段の確立と行きやすい場所での開催	多くの課題を知ってもらう
	商業施設の場所へのアクセスが悪い 駅近くにスターバックス・ドトールがない 学生が集まって勉強などをする場が少ない 街の活性化への期待 働く場、若い人が少ない	施設の活用 人が集まりやすい環境づくり 公共施設などに子ども用のフリースペースを作る お茶でも如何ですか?の看板を立てる 誰でも利用出来るお店を増やす イートインコーナーの増加など、飲食スペースの充実を図る 既存施設の活用 高齢者や地域住民が気軽に集まれるような施設をつくる 病院の近くにカフェを作る 空き家をみんなが集まれる場所に変える 世代を超えて楽しめる施設を造る ショッピングモールを増やすだけでなく、子ども達が遊べる場を増やす 駅を利用しやすい場所に建てる	情報収集と情報発信 高校生ワークショップの感想を友達・先生・家族に伝えていく 自らが学んだことを周りの人に広めて、更に情報を発信する 地域で行っている行事や活動を情報収集する 地域での活動が分かるプリントを作り、直接渡しに行く ポスターを作成し、イベントを知って参加してもらう 学校行事を地域の掲示板に掲示する 委員会等で呼びかけ、参加者を募って積極的にボランティア・交流に参加する 学生×〇〇のワークショップの機会を設ける 行事として高齢者と高校生が交流する場を作り、コミュニケーションをする 地域の高校とタイアップ企画などイベント案を考え、参加する 地域毎に高校生がレクリエーションを企画する お話し会・お茶会のボランティア活動 吹奏楽・合唱などの部活の発表会 草むしり・雪かきの手伝い 施設にボランティアのお願いをする ボランティアに参加する 積極的に施設やお店を利用する 地域のお店を宣伝するためのポスターをつくる

高校生ワークショップ実施記録

H30.12.1 開催

A グループ

高校生 大槻塁斗 水野聖生 栗原木乃香 熊谷有彩 阿部りか
大学生 塚田実央 原田純 小野寺優芽

<地域課題>

①不便な交通網

移動手段が少なく、公共交通が不便

移動が困難で買い物に行けない高齢者がいる

②障がい者への配慮

点字ブロックの上に自転車が置いてある

電車の中で知的障がい者が暴言を吐き、言い争いになっていた

③交流

地域住民との関係が薄くなっている

転勤が多いため、周りに住んでいる人が分からない

地元の魅力を子どもに伝える機会が少ない

高齢者が楽しめる場、子どもが思い切り遊べるような公園が少ない

④安全なまちづくり

街灯が少なく、夜安心して歩けない

交通量が多いのに、信号機、標識やブロックが少ない

⑤その他

福祉関係の人出不足

避難所が分かりにくい

学生が集まって勉強などをする場が少ない

電車の中で高齢者が大声で電話している



<課題解決>

- ①点字ブロックの上に自転車があったら自転車に張り紙をする
- ②公共施設に障がい者についてのパンフレットなどを置く
 - 障がい者をサポートするボランティア
 - 障がい者が暮らしやすくなるように意見を聞く
 - 障がい者に対する理解を深めるための講座等を市などで積極的に開催し、参加する
 - 障害を疑似体験し、大変さを感じてみる
- ③地域行事に参加してもらえるようにする
 - ショッピングモールを増やすだけでなく子どもたちが遊べる場（公園）を増やす
 - 公共施設などに子ども用のフリースペースをつくる
 - 親子で参加できる講話や行事を増やす
 - 小中高生などが高齢者の話を聞くイベントの開催
 - 幅広い年齢が楽しめるイベントを行う
 - 世代を超えて楽しめる施設をつくる
 - 移動手段の確立と行きやすい場所での開催
 - 高齢者を地域の学校祭などに招待して触れ合う場を作る
 - 地域でお茶飲み会などをして交流する
 - 地域の学校、保育園、公民館、施設などを生かして交流する

<自分たちにできること>

- ②障がい者の人が困っていたら積極的に声をかけて助ける
- ③地域で行うイベントに積極的に参加する
 - 近所の高齢者をイベントに誘う
 - 行事として高齢者と高校生が交流する場を作り、コミュニケーションをする
 - 多くの人が集まって話やお茶会などができるようにする
 - 道であった人にはあいさつをする（幼児から高齢者まで）
- ⑤施設にボランティアのお願いをする
 - 今日参加した感想を友達・先生・家族に伝えていく
 - 学んだことを周りの人に広めてさらに情報を発信する
 - 委員会等で呼びかけ、参加者を集めて積極的にボランティア・交流に参加する



B グループ

高校生 小松優也 高橋優菜 小野寺優 倉成太一 岩渕愛月
大学生 阿部航也 水江扶生子 松岡南都

<地域課題>

①道路環境

道路が凸凹している
並走自転車が歩行者に迷惑をかけている
椅子が少ない
雪が降ったときの歩行が困難
道路を横切っているお年寄りがいる

②街頭

街灯が少なく、暗い道が多い

③交流

交流の場が少ない
近隣の繋がりが希薄
1人暮らし高齢者が多い
商業施設の場所が悪い
駅近くにスタバ・ドトール等がない

④公共交通が不便

電車・バスの本数が少ない

⑤その他

働く場、若い人が少ない
障がい者が気軽に歩けない
使っていない家を減らしてほしい



<課題解決>

③直接高齢者に会いに行く

声かけ、行事などへの参加
飲食スペースの充実、看板の設置
病院の近くにカフェをつくる
イートインコーナーの増加
高齢者×学生のイベントの開催
集まりやすい環境づくり
誰もが利用できるお店を増やす
空き家をみんなが集まれる場所に変える



＜自分たちにできること＞

地域の高校とタイアップ企画などイベントの案を考える、参加する
学生×〇〇〇のワークショップの機会を設ける
近所の高齢者に会ったら挨拶をするなど日常生活での地域の人との交流
家庭菜園をしている近くの高齢者に教わりに行く
組織・団体をつくる
多くの人の課題を知ってらう
お店を宣伝するためのポスターをつくる
ポスターを作成しイベントを知って参加してもらう
ボランティアをする
地域での活動が分かるプリントを作り、直接渡しに行く
積極的に施設やお店を利用する

C グループ

高校生 石川叶 山本皓大 高橋えり奈 菅原泰雅
大学生 阿部茉友花 宮下茜

<地域課題>

①道路環境

道路の凸凹が多く、危ない
自転車の走るところが狭い
歩道が狭いところが多い

②街頭

暗くて歩きにくい場所がある
暗い時間帯の下校
街頭が少なく、夜道の視界が悪い

③交流

近所付き合いが減少してきている
子供と高齢者が交流できる場があるといい

④移動手段

交通手段がなく、買い物や病院に行けない高齢者がいる
子どもの送迎
電車が1時間に1本しかなく、またなければならない

⑤高齢者

1人暮らし高齢者が孤立してしまう
退職後の高齢者が日中過ごす場

⑥マナー

車の停め方

⑦空き家が多い



<課題解決>

①段差が少ない道路に作り替える

危険個所が分かるマップを作成し配布する
歩行者や自転車の通行頻度などを踏まえて、優先的に修理すべきところを見つける
スロープなどを増やす
自転車専用レーンをつくる

②街頭を整備する

車のライトをLEDにする



③定期的に地域で交流会を開催

地域で参加するレクリエーションの場を作る

地域の人に会ったら挨拶をし、孤立化を防ぐ

文化センターをもっと活用する

ひとり暮らし高齢者の家を訪問し、お話ししたりする

親の帰りが遅い子どもを、一人暮らし高齢者宅で預かってもらう仕組みを作る

④買い物バスの運行

高齢者専用タクシー

⑤高齢者や地域の人が気軽に集えるような施設をつくる

公民館、図書館を利用したお茶会など

⑥マナーを周知する看板を多くする

<自分たちにできること>

①自転車の駐車スペースを守る

マナーで困っていることを集めて、より困っていることについての看板をつくる

自転車マップ、歩行者マップをつくり、地域の方に配る

学校の授業などで道路の危険マップを作り、文化祭など地域の方が

見に来れるような場で発表する

②積極的に地域の人にあいさつをする

家の祖父母を外出などに誘う

地域で行っている行事や活動の情報収集

学校の行事等地域の掲示板に貼る

④買い物ができない人のためにおつかいをする

その他

地域ごとに高校生がレクリエーションを企画する

お話会、お茶会といった学生ボランティア

家の整備（草むしり、雪かきなど）

吹奏楽、合唱などの部活の発表会

お料理会（郷土料理）

市内の様々なところに出歩いてみる

